

○大竹市自主防災資機材支給要綱

平成19年6月15日告示第128号

改正 令和元年5月8日告示第3号

令和3年10月11日告示第130号

(趣旨)

第1条 この要綱は、自主防災組織の育成及びその円滑な防災活動を行うために必要な資機材(以下「防災資機材」という。)の支給に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において「自主防災組織」とは、災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第2条の2第2号に規定する自主防災組織及び共助の促進を目的に結成し市長が認めた防災のための組織をいう。

(支給対象)

第3条 防災資機材の支給の対象となる自主防災組織は、市長に設立の届出をした自主防災組織とする。ただし、既にこの要綱による防災資機材等の支給を受けた自主防災組織又は市の助成等により、既に防災資機材等を整備している自主防災組織には、支給は行わないものとする。

(支給の内容)

第4条 支給する防災資機材の種類及び支給限度数量は、別表に定めるものとする。ただし、複数の自治会等で組織する自主防災組織において、特に市長が認めたときは、この限りではない。

(支給の申請)

第5条 防災資機材の支給を受けようとする自主防災組織は、防災資機材支給申請書(別記様式第1号)に次に掲げる書類を添えて、市長に申請しなければならない。

- (1) 防災資機材の種類及び数量を記載した書面
- (2) 保管場所、保管方法等に関する事項を記載した書面
- (3) 組織の目的及び構成員、役員等に関する事項を記載した書面
- (4) 申請時の年度の事業計画書

(支給の決定)

第6条 市長は、前条の規定による申請を受けたときは、予算の範囲内で順次支給するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号の事項に該当すると認められるときは、支給しないものとする。

- (1) 支給された防災資機材が、緊急時での使用に支障がないよう適切に維持管理できないと認められるとき。

(2) 自主防災組織としての活動を継続できないと認められるとき。

(受領書の提出)

第7条 防災資機材の支給を受けた自主防災組織は、速やかに防災資機材受領書（別記様式第2号）を市長に提出するものとする。

(状況調査)

第8条 市長は、防災資機材の管理に関し、必要があると認めるときは、自主防災組織に対し報告を求め、又は調査をすることができる。

(防災資機材の返還)

第9条 市長は、自主防災組織が次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、支給した防災資機材の全部又は一部の返還を求めることができる。

(1) 支給を受けた防災資機材を他に譲渡し、又は故意に棄損したとき。

(2) 自主防災組織を解散し、又は相当期間にわたり活動を休止しているとき。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年6月15日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年9月15日から施行する。

附 則（令和元年5月8日告示第3号）

(施行期日)

1 この要綱は、令和元年5月8日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の際現に存する改正前の様式の書式による用紙は、当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（令和3年10月11日告示第130号）

(施行期日)

1 この要綱は、令和3年10月11日から施行する。

(経過措置)

2 この要綱の施行の際現にあるこの要綱による改正前の様式（次項において「旧様式」という。）により使用されている書類は、この要綱による改正後の様式によるものとみなす。

3 この要綱の施行の際現にある旧様式による用紙については、当分の間、これを取り繕って使用することができる。

別表（第4条関係）

## 防災資機材の種類及び支給限度数量

| 防災資機材の種類 | 支給限度数量 |
|----------|--------|
| スコップ     | 5      |
| のこぎり     | 1      |
| ヘルメット    | 10     |
| ハンドマイク   | 1      |
| 懐中電灯     | 6      |
| ブルーシート   | 10     |
| カラーコーン   | 10     |
| コーンベット   | 10     |
| コーンバー    | 5      |

別記様式第1号（第5条関係）

防災資機材支給申請書

年 月 日

大 竹 市 長 様

自主防災組織名  
代 表 者 住 所  
氏 名 \_\_\_\_\_

当地区において、防災資機材を整備するため、資機材を支給されるよう関係書類を添えて、申請いたします。

記

添付書類

- (1) 防災資機材の種類及び数量を記載した書面
- (2) 保管場所、保管方法等に関する事項を記載した書面
- (3) 組織の目的及び構成員、役員等に関する事項を記載した書面
- (4) 申請時の年度の事業計画書

別記様式第2号（第7条関係）

防 災 資 機 材 受 領 書

年 月 日

大 竹 市 長 様

自主防災組織名  
代 表 者 住 所  
氏 名 \_\_\_\_\_

当地区において、防災資機材下記のとおりを受領しました。

記

| 防災資機材の種類 | 支給を受けた数量 |
|----------|----------|
| スコップ     |          |
| のこぎり     |          |
| ヘルメット    |          |
| ハンドマイク   |          |
| 懐中電灯     |          |
| ブルーシート   |          |
| カラーコーン   |          |
| コーンベット   |          |
| コーンバー    |          |